

これまでの課題 **ハウスに行かんと..何もわからん、何もできん**

豪雨

台風

雷

危機管理

**大丈夫
やろうか..**



これまでの課題

なんか、毎年一年生!? 背中はずいぶんま...





農家にIoPが導く様々な有益情報を伝えるIoPクラウド（SAWACHI）を開発



・2年間の実証後

・2022.9.21～
IoPクラウド
(SAWACHI)
本格稼働開始





IoPクラウド『SAWACHI』の使い方 **(楽しみ方)** は **自由!**

皿鉢料理の魅力!

- ・食べたい人が、
 - ・食べたい料理を、
 - ・食べたい順番で、
- 自由に楽しめる!



高知の伝統料理・・・皿鉢

SAWACHIの魅力!

- ・情報を欲しい人が
 - ・欲しい情報を、
 - ・欲しい時に、
- 自由に活用して
楽しめる!





IoPクラウド (SAWACHI) データ自動集約・共有→分析・診断・改善へ



県園芸データ活用1000戸突破

「IOPクラウド「SAWACHI」



IOPクラウド「SAWACHI」への登録千戸を記念して開かれたセレモニー（県庁）

高知新聞記事
(2023.7.15) より



一方、県の目標登録数は2022年度2千戸、23年度3千戸で、農業イノベーション推進課は「宣伝、周知に力を入れていく」としている。



2023年7月14日(金)

SAWACHI 利用農家 1,000戸突破!!

19

園芸ハウスの温度や湿度、日射量などの栽培データをインターネット上で集積する県のIOPクラウド「SAWACHI」の利用農家が千戸を突破し14日、県庁でセレモニーが開かれた。

SAWACHIはクラウド上に集めたデータを分析して収量アップにつなげる取り組み。登録した農家は、スマートフォンやパソコンで気象情報や市況、温度などをリアルタイムで確認できるほか、栽培の参考となる過去のデータも確認できる。昨年9月に本格稼働し、同日までに1021のユーザー登録があった。

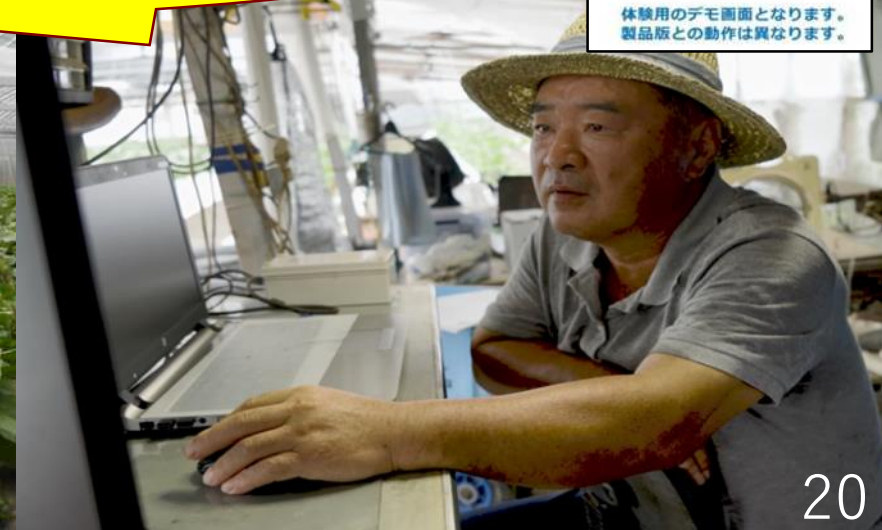
セレモニーには、イチゴ農家4人とトマト農家2人が出席。浜田省司知事が「データを営農に生かし、楽しく楽して稼げる農業の第一線として活躍して」と激励し、アカウント登録書を手渡した。

佐川町でイチゴを生産する植田正和さん(49)は、昨年12月の大雪でハウス倒壊の被害を受け、再建のタイミングでSAWACHIを導入した。「イチゴは温度管理が最も大切。今まではハウスに見に行くことも多かったが、今後は遠隔で確認できる」と期待していた。

現在、出荷データ2,500戸接続、環境データ502戸接続、1,032戸の農家が利用



なんか、えいぜよ！I o P





I o Pクラウドにつながると、営農に必要な情報がいつでも、どこでも入手できます

※実際のログイン画面





ハウスの状況（現在の状況←過去）が、いつでも、どこからでも確認できます

Welcome to SAWACHI



現在のハウス状況



温度

26.8
°C

02/08 10:15



湿度

78.3
%

02/08 10:15



CO2濃度

612
ppm

02/08 10:16



日射量

201.6
W/m2

02/08 10:14



画像での確認



2023/02/08 10:10の画像

[詳細 >](#)



グラフ 圃場1



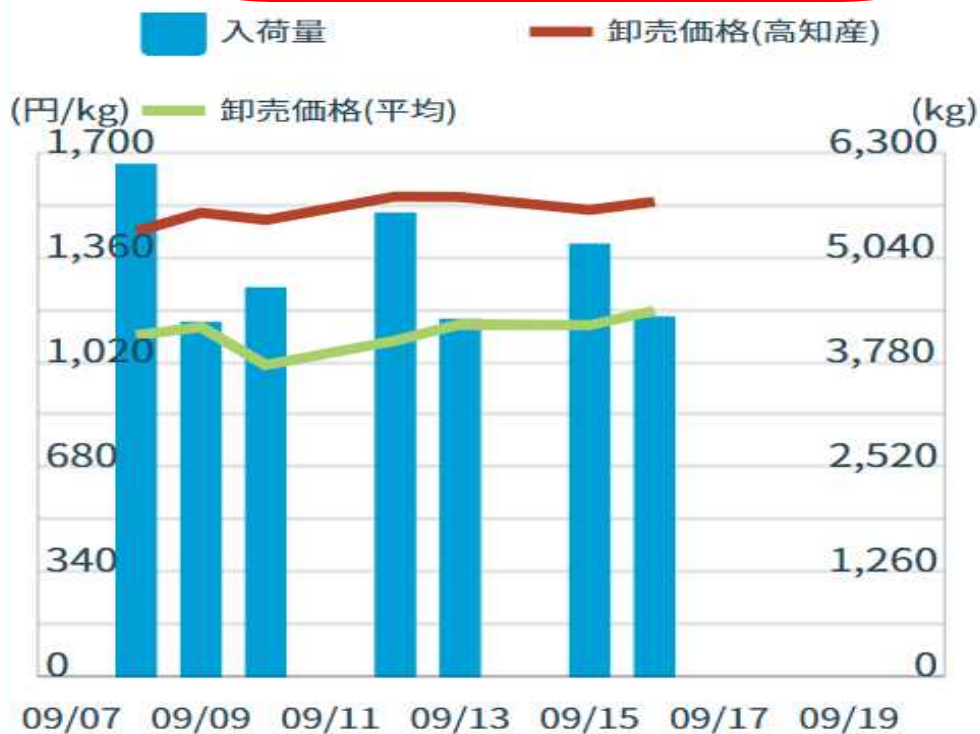


全国の市況(高知県産とライバル県の比較)や詳細な営農気象情報を提供

Welcome to SAWACHI



全国の市況・値動き



2022/09/07 ~ 2022/09/20

[詳細 >](#)



県内230カ所の気象情報

代表点名：高知

09/21(水)

	23	0	1	2	3	4	5
天気							
降水量	0mm	0mm			0mm		
風向 風速	 2m/s	 2m/s	 2m/s	 2m/s	 2m/s	 2m/s	 2m/s
気温	 19℃	 19℃	 18℃	 18℃	 18℃	 18℃	 18℃

1日表示

4日表示

現在

6時間後

12時間後

18時間後